



<ロータリー財団委員会> 嶋委員長  
中島健児会員からいただきました。

<米山奨学委員会> 石野委員長  
井上久会員→「妻の誕生日に素敵なお花をありがとうございます。この制度のおかげで何とか会員をしていることができています」。福家会員→「妻の誕生日に素敵なお花をいただきありがとうございます」。中村会員→「8月19日に52歳になります」。安藤美恵子会員からもいただきました。

### 本日のプログラム

<青少年交換留学生卓話> 藤崎由佳さん

私は2015～16年度の青少年交換学生として台湾の台北市に派遣されました。台湾は沖縄の与那国島に近く公用語は中国語です。台湾の夏はとても暑く、まるでせいろで蒸されているような暑さです。夏があまりにも暑いので、現地の人は冬の気温が22℃位でも寒いらしくかなりの厚着で驚きました。

私はロータリーから150時間の語学プログラムを準備していただいて、語学学校のクラスにも通いました。中でもスピーチコンテストのテーマとして、第二次世界大戦終了まで日本に統治されていた台湾が日本であった事、1945年から台湾人となったことなどスピーチをして賞もいただきました。台湾ではまだ統治時代の建物が大事に使われており、現地の高齢者とは日本語でコミュニケーションが普通に取れます。現地で有名な温泉博物館には畳があり、久しぶりの畳に声をあげて感動しました。

ホストファミリーには台湾の色々な所に連れて行ってもらいました。台北の海はあまりきれいではありませんが、市場の果物は種類も豊富で日本では食べられない珍しい物も多く、台湾に行った際にはリングバナナをぜひ試しに食べてください。

留学生の学校生活のほとんどが図書室の中で過ごしますが、私も同様に多くの時間図書室で過ごしました。まだ意思の疎通が出来ない頃から図書の先生には本当にお世話になりとても感謝しています。留学生として各地から来ている学生と交流し親睦も深めました。特に親交留学生はやはり現地で特別扱いを受けやすく、せっかく語学の勉強をとこちらが中国語で話しかけても日本語でレスポンスされたりとする中、学校の購買のおばさんだけは普通に会話をしてくれた事が逆に嬉しかったのを覚えています。

帰国する際、次の受け入れ学生にも会い、1年とい

う時の移ろいを感じました。先日インターアクトのサポートスタッフとして参加してきましたが、今後も来日学生のサポートや、これから色々な形でロータリーに紹介したいと思います。皆さまのおかげで台湾生活を楽しく過ごせ感謝しています。ありがとうございました。

藤崎さんが1年間、青少年交換留学生として過ごされた台湾での学生生活の写真を見ながらの卓話となりました。

